

ひろしま建築学生チャレンジコンペ2018 質問に対する回答

整理番号	回答日	件名	質問内容	回答
1	8月20日	屋根の構造について	屋根の構造は鉄骨や木造で作ることは可能でしょうか。	屋根を鉄骨造や木造とすることは可能ですが、コストは重要な審査項目となりますので十分ご注意ください。
2	8月20日	計画可能範囲の寸法について	計画可能範囲の寸法を具体的に教えていただきたいです。	新築トイレの規模を考慮し、建築可能範囲を約6.000mm×約6.000mmとしましたので参考にしてください。 (実施要領「計画敷地図」(P.15)に寸法を追記しました)
3	8月20日	担当教授について	大学の建築学科二回生です。現在応募にあたり所属大学教授以外の方に担当教授をしていただきたいと考えています。それにあたって確認なのですが応募手続き担当教授の条件において所属学校に勤務する教授とする。と記載されているのですが他大学の建築学科の教授や、設計事務所の建築士の方で実施設計の経験があり、構造計画およびコスト管理のできる方またはこれと同等の方でも、条件に当てはまらないのでしょうか？	このコンペは、最優秀作品の提案者とその担当教授等に、実施設計や工事監理の監修を約2年かけて行っていただきます。担当教授等は、長期に亘る監修において、提案者を密に指導できる教育環境を有していることが必要です。  提案者の所属学校以外に勤務する担当教員・教授等は、提案者を密に指導できる教育環境を有しているとは想定できないため、特別な事情がない限り認められません。 また、所属学校と関係のない設計事務所の建築士については、担当教授等には該当しません。  担当教授等の条件について、ご理解いただきますようお願いいたします。